

令和7年度 大阪市立図書館の目標について [振り返り]

平成29年度まで単年度ごとに行ってきた「大阪市立図書館の目標とその振り返り」については、30年度より主要計画の基本方針に沿って、具体的な実施状況の検証を行うこととした。令和7年度目標に掲げた指標に対する結果を報告するとともに、自己評価を記すこととする。

5つの 基本方針

- 1 知識を創造する図書館へー情報拠点化施策の推進ー
- 2 人と、心を育てる図書館へー子どもの読書相談支援センターとしての機能強化ー
- 3 地域創造図書館の構築
- 4 学校支援の機能強化
- 5 効率的な運営体制の確立

「いつでも、どこでも、だれもが、課題解決に必要な情報にアクセス可能な創造都市の知識・情報基盤」として、調査相談機能・情報提供サービスの高度化を進め、一層の機能強化を図るとともに、未来を担う子どもの心を育て、豊かな感性と創造力を育むため地域・学校との連携による子どもの読書活動を推進する「知識創造型図書館」を目指す。地域図書館は、全館のネットワークを背景に、地域の情報拠点としての機能を果たすことで「地域創造図書館」の構築を目指す。

教育振興基本計画に掲げた施策目標<<令和7年度実績値>>

施策目標(プロセス指標)		R7目標	R7実績
市立図書館来館者数とHPアクセス件数の合計(件)【本市調査】		1,680万	864万
「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童生徒の割合(%)【本市調査(大阪市小学校学力経年調査・中学校アンケート)】	小学校	23.5	34.4
	中学校	42.4	49.6
「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合(%)【大阪市小学校学力経年調査】		76.5	70.5
学校図書館貸出冊数(児童生徒1人当たりの年間貸出冊数)(冊)【本市調査】	小学校	38	31.9
	中学校	6	2.6
「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、「週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合(%)【大阪市小学校学力経年調査】		81.4	82.8

その他の計画、局運営方針に掲げた主な取組<<令和7年度実績値>>

取組内容	R7目標	R7実績	
電子図書館機能の利用促進 アクセス件数(件)	480,000	242,835	運営方針
国立国会図書館レファレンス協同データベース事業のレファレンス事例公開件数(件) 調べ方マニュアル・特別コレクションに関する件数を含む	1,660	1,682	運営方針
市立図書館における児童書の貸出実施(冊数)	3,000,000	2,963,415	子読計画
市立図書館から小中学校への団体貸出実施(冊数)	100,000	75,835	子読計画
市立図書館ホームページ「こどものページ」「ティーンズのページ」の充実 アクセス件数(件)	28,000	20,918	子読計画
市立図書館と区役所等との連携事業実施(件)	1,200	1,611	子読計画
学校図書館支援ボランティア研修、交流会の開催(件)	24	18	運営方針

「運営方針」: 令和4年度教育委員会事務局運営方針 「子読計画」: 第4次大阪市子ども読書活動推進計画(令和4~7年度)
※の指標は、令和6年度中に実施予定のシステム移行に伴うホームページ休止期間を考慮している

※令和7年1月の図書館システム更新に伴い、情報提供サービスにおける各件数の取得方法を変更しています。

基本方針 1 知識を創造する図書館へ

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤として、その利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進

取組項目		具体的取組	指標	実施状況	評価
●情報収集・課題解決のための図書館機能の充実	○図書館資料の充実	・市民のニーズにあった図書館資料の収集・更新とタイトル数の確保 ・参考図書や主題図書など市民の課題解決に役立つ資料の充実整備 ・区の情報拠点としての地域の資料・情報収集機能の充実整備 ・調べ学習や読書活動支援のための図書の充実	収集図書タイトル数 参考図書蔵書冊数 地域資料蔵書冊数 学校支援用図書蔵書冊数	年度中に発行された新刊図書を23,663タイトル購入(前年度比1.61%増) 参考図書を新たに、1,872冊受入し、市民の課題解決に役立つ資料の充実整備を継続 地域資料を収集・整理し、3,387冊を新たに提供 調べ学習支援等の児童図書を継続整備(購入受入:398冊 前年度比6.7%増)	○
	○レファレンス・情報サービス・情報発信機能の拡充 ○レファレンスサービスの周知 ○情報リテラシーの向上支援	・ビジネス講座の継続開催 ・OMLIS(利用者用検索端末)利用促進 ・国立国会図書館レファレンス協同データベース事業へのレファレンス事例公開 ・レファレンスサービスの周知 ・横断検索(他機関の所蔵・各種データベース一括検索)の利用促進 ・ホームページ「おおさか資料室」の拡充 ・「思い出のこし」カードの公表・データベース追加等事業の推進	ビジネス講座実施回数 使い方講座実施回数 レファレンス公開件数 レファレンス事例アクセス件数 利用者アンケート結果 OMLINサーチのアクセス件数 「おおさか資料室」アクセス件数 「思い出のこし」カードの受理件数、公表件数	4回実施。参加者数116人(前年度4回、101人) 13回(前年度14回) 1,682件(前年度比4.7%増) 837,805件(前年度比58%減) アンケート満足度 中央図書館57.2%(前年度比1.1%増) OMLINサーチのアクセス件数138,618件(前年度比55.2%減) 7,853件(前年度比2.7%減) 受理245件、公表59件(前年度:受理40件、公表15件)	△
	○市民への広報の拡充(利用の促進)	・広報媒体の効果的活用 ・図書館ホームページでの情報発信の拡大 ・SNSを使った情報発信の継続	図書館ホームページアクセス件数 SNS発信回数 SNSフォロワー数	3,500,294件(前年度比60.9%減) X(旧Twitter)発信件数703件(前年度比20.5%減)、Facebook発信件数160件(前年度比10.3%増) X(旧Twitter)フォロワー数4,318、Facebookフォロワー数1,184	○
	○アクセシブルな書籍等の充実(点字図書、録音図書、LLブック、大活字本、音声デジター図書、マルチメディアデジター図書など)	・収集・製作の継続 ・マルチメディアデジター等の地域図書館における提供の促進 ・読書バリアフリーに関する広報・啓発	アクセシブルな書籍等の所蔵点数 読書バリアフリー啓発イベント・展示等実施回数	LLブック893点(前年度比76点増)、マルチメディアデジター1,286点(前年度比 338点増) 読書体験会、製作講習会など24回、参加者数708人、読書バリアフリー啓発展示20回	○
	○障がい者サービスの利用促進、施設整備	・拡大読書器の地域図書館設置	拡大読書器設置館数	23館	○
	○読書バリアフリーに関する人材育成、連携協力	・職員・ボランティア等を対象とした研修や養成・ステップアップ講座等の実施 ・関係機関との連絡会等の実施 ・サビエ登録の継続 ・国立国会図書館の「視覚障がい者用データの収集及び送信サービス」へのデータ提供	「視覚障がい者用データの収集及び送信サービス」へのデータ提供件数	5件(前年度11件)	

○多文化サービスの展開	・外国語資料の充実	外国語図書の受入冊数	1,415冊(前年度比 22.17%減) R7年度はハンブルク市との寄贈図書の交換なし	○
	・多言語による利用案内(紙、WEBページ) ・外国語の絵本等を活用した行事の実施 ・外国語資料ページの充実 ・日本語に習熟していない人のための「やさしいにほんご」のページの充実 ・やさしいにほんごモードのOPACの広報・周知 ・電子書籍の活用 ・学校等に向けた外国語資料の団体貸出についての周知・活用促進	外国語の絵本等を活用した行事の実施回数 外国語資料ページのアクセス件数 やさしいにほんごのページのアクセス件数 やさしいにほんごモードOPACのアクセス件数 電子書籍(外国語・日本語学習用図書)のアクセス件数 外国語資料の団体貸出冊数	20回(前年度35回) 6,619件(前年度比 116.0%増) 7,977件(前年度比 42.4%減) 7,639件(前年度比 238.6%増) 5,679件(前年度比 211.9%増) 50件1,891冊(前年度45件1,313冊)	
●電子図書館機能の利用促進	・電子資料の収集・提供による電子図書館機能の充実	電子書籍アクセス件数、フルテキスト閲覧件数	アクセス件数 23,956件(前年度比 30.4%減)、フルテキスト閲覧件数 34,396件(前年度比 6.2%減)	○
	・商用データベース、電子書籍等課題解決につながる電子図書館機能の利用促進(電子図書館機能活用講座(一般対象・小中学生対象)の開催や動画配信による電子図書館機能の案内など) ・音楽配信サービス(ナクソス・ミュージック・ライブラリー等)の利用促進 ・国立国会図書館歴史的音源、デジタル化資料送信サービスの提供継続 ・デジタルアーカイブの利用促進 ・デジタルアーカイブ画像の高精細化 ・デジタルアーカイブのオープンデータ画像について関連展示等イベント実施	電子図書館機能活用講座実施回数 商用データベースアクセス件数 ナクソス・ミュージック・ライブラリーサービスのアクセス件数 国立国会図書館歴史的音源へのアクセス件数 デジタルアーカイブのアクセス件数 デジタルアーカイブのオープンデータ活用イベント実施回数	一般対象:120回(前年度122回)、小中学生対象:65回(前年度51回)(体験学習でのOMLIS研修等を含む) 73,673件(前年度比 2.9%減) 35,081件(前年度比 1.8%増) 887件(前年度比 94.1%増) 78,625件(前年度比 76.1%減) 5回(前年度10回)	
●地域連携・支援と学習拠点としての機能拡充	・各区広報紙や大阪市生涯学習情報誌「いちよう並木」への市立図書館の情報掲載、情報紙などによる読書普及行事等の情報提供の充実			○
	・区役所等地域施設との連携強化 ・地域の企業団体との連携実施 ・「Hon+α!(ほな!)」スペースの活用方策の検討 ・地域における防災・減災への取組支援 ・地域情報の豊富化によるシビックプライドの向上支援 ・市立図書館Wi-Fi環境の提供継続 ・蔵書検索モバイル版利用促進	★区役所や子育て支援施設等地域施設と協力した連携事業回数<目標:1,050回> 災害、防災関連の取組ページアクセス件数 蔵書検索モバイル版アクセス件数	1,611件(前年度比 9.3%増) 1,549件(前年度比 14.7%減) 2,532,231件(前年度比 93.0%増)	

基本方針 2 人と、心を育てる図書館へ

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、地域や市民との連携事業の企画調整

取組項目	具体的取組	指標	実施状況	評価
●子ども読書活動の推進	・子ども読書の日記念事業の実施 ・大阪市図書館フェスティバルの実施 ・「こどものほんだな」の作成・配布 ・ホームページ「こどものページ」・「子どもにすすめる本」ページの内容豊富化 ・来館や貸出でポイントがたまる「としょかんポイントプログラム」実施による読書推進 ・自動車文庫巡回ステーションでのお楽しみ会開催や広報・情報発信等利用促進に向けた取組実施 ・ティーンズ層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催 ・ホームページ「ティーンズのページ」等の充実 ・乳幼児向け催しの実施 ・乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする展示の充実	- 子ども読書の日記念事業参加者数 - 大阪市図書館フェスティバル参加者数 ★「こどものページ」のアクセス件数 <目標:27,000件(「ティーンズのページ」のアクセス件数との合計)> 「子どもにすすめる本」のページのアクセス件数 - としょかんポイントプログラム参加者数(15歳以下) - 自動車文庫車で1日当たりの児童書貸出冊数 ★「ティーンズのページ」のアクセス件数 <目標:27,000件(「こどものページ」のアクセス件数との合計)>	1,097人(前年度比 44.9%増) 4,080人(前年度比 4.6%減) 11,866件(前年度比 24.6%減)、ティーンズのページとの合計20,918件(前年度比 5.5%減) 13,311件(前年度比 26.5%増) - としょかんポイントプログラム実施なし 466冊(前年度比 7.2%減) 9,052件(前年度比 41.3%増)、こどものページとの合計20,918件(前年度比 5.5%減)	○
●市民協働による就学前施設等との連携	・子ども・子育てプラザ等就学前施設と連携・協力したブックスタート事業の啓発 ・市立図書館全館の子育て支援コーナーでの、区の子育て支援広報紙・子育て支援施設の行事案内等の配付 ・乳幼児の保護者を中心とした大人への啓発 ・幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本 ・絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティアの派遣 ・ボランティア養成講座、ステップアップ講座の実施 ・ボランティア間の情報交換等交流の場の拡大 ・ボランティアページの内容豊富化	- 乳幼児の保護者等対象の読み聞かせ講座(出前講座「子育てに絵本を」等)の実施回数 - 子育て支援施設や幼稚園・保育所等への配本回数 - ボランティア派遣回数 - 講座実施回数、参加者数 - ボランティアページのアクセス件数	1,052回(前年度959回) 49回(前年度58回) 439回(前年度436回) 1,775回(前年度1,782回) - 入門講座(難波市民学習センター実施分を含む。集合型)6回・289人(前年度6回・292人)、ステップアップ講座3回・125人(前年度3回・117人) 5,553件(前年度比 14.8%増)	○
●大阪の歴史・現状・文化についての学習に役立つ資料や情報の収集提供	・大阪について関心を持てるような講座、参加型プログラムの実施			○

●ネットワークの形成	・子どもの読書活動推進連絡会の実施 ・えほんひろば(絵本展)の開催など、区役所や地域施設と協力した読書普及活動の実施、情報紙などによる読書普及行事等の情報提供 ・市民協働事業 One Book One OSAKAの継続・拡充	「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」および各区の「子ども読書活動推進連絡会」実施回数 One Book One OSAKA関連イベント実施回数	「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」を9/3に開催、全区で「子どもの読書活動推進連絡会」を集合形式にて開催 47回	○
------------	---	---	---	---

基本方針 3 地域創造図書館の構築	大阪市立図書館全館のネットワークを背景とした「地域の情報拠点」としての地域図書館の利用促進
-------------------	---

取組項目	具体的取組	指標	実施状況	評価
●地域図書館の機能充実	・課題解決に役立つ蔵書の充実 ・調査相談(レファレンス業務)の強化・課題解決支援	主題分野の蔵書構成比(全蔵書の6割以上) レファレンス件数	主題分野の蔵書構成比 64.2%(前年度比 0.5%増) レファレンス件数 448,309件(前年度比 2.6%減)	○
●地域図書館の利用促進	・ホームページ等を活用した地域図書館機能の広報周知 ・「思い出のこし」カードの公表・データベース追加等事業の推進【再掲】 ・郷土史講演会等、地域に根差したテーマによるイベント開催	地域図書館来館者と地域図書館ホームページアクセス件数の合計 「思い出のこし」カードの受理件数、公表件数(再掲) イベント開催件数	4,866,796件(前年度比 16.1%減) 受理245件、公表59件(前年度:受理40件、公表15件) 実施件数 132件(前年度比 88.5%増)	◎
●地域との連携強化	・区役所等地域施設との連携強化【再掲】 ・地域の企業団体との連携実施【再掲】	区役所や子育て支援施設等地域施設と協力した連携事業回数	1,611件(前年度比 9.3%増)	○
●地域図書館の建替整備	・新淀川図書館の開館に向けた準備			○

基本方針 4 学校支援の機能強化	学校図書館活用推進事業の実施 図書の特貸出等学校への支援・協力
------------------	------------------------------------

取組項目	具体的取組	指標	実施状況	評価
●学校図書館の活性化	・学校図書館図書整備支援 ・学校司書の配置	大阪市学校図書館図書標準達成率	全校100%達成を維持	○
●市立図書館から小中学校への支援	・小・中学校に対し学校通送を使った団体貸出の活用による調べ学習・一斉読書支援 ・図書館見学、職場体験学習等の受入やおはなし会の実施 ・児童いきいき放課後活動における読書活動への支援 ・学校図書館支援ボランティアの支援 ・ホームページでの学校向け情報発信の充実 ・電子図書館機能(電子書籍・商用データベース等)の充実	★市立図書館から小中学校への団体貸出冊数 <目標:9万冊> 学校連携事業の実施回数 ボランティア講座実施回数 学校支援のページ・学校図書館活用推進事業ページアクセス件数	75,835冊(前年度比15.5%増) 3,503回(前年度比0.9%減) 18回(前年度12回) 学校支援のページ:9,204件(前年度比29.8%増)、学校図書館活用推進事業ページ:10,113件(前年度比13.6%増)	○

基本方針 5 効率的な運営体制の確立	効率的で効果的な図書館の管理運営の推進 関係機関との連携協力の推進
---------------------------	--------------------------------------

取組項目	具体的取組	指標	実施状況	評価
●経費節減と歳入財源の確保	・広告事業などの実施による歳入確保 ・ふるさと寄附金の募集広報 ・寄贈資料の大口募集の継続、広報の強化	歳入金額 ふるさと寄附金額 企業・団体等からの寄贈受入件数および冊数	貸出レシート広告事業(24館で実施)41,000円(前年度比69.4%減)、ホームページバナー広告事業257,000円(前年度比8.2%減)、自動車文庫車ラッピング広告事業240,000円(前年度比118.2%増) 7,155,386円(前年度比67.22%増) 7件、620冊(前年度:22件、1,933冊)	○
●利用環境の改善	・より快適に図書館を利用していただけるよう、施設整備や案内表示の見直し	設備の更新、改装等	書架・閲覧机・椅子等の更新11館 子ども向けコーナー掲示ボード新設1館	○
●人材育成の推進	・司書の専門性向上と人材育成の充実に必要な研修等の実施 ・外部研修への司書の派遣	研修実施回数 派遣件数	全職員を対象とした研修 11回(前年度8回)、担当者別研修16回(前年度13回) 47件(前年度36件)、Web研修55件(前年度107件)(いずれも府立図書館、文部科学省、国立国会図書館等の主催研修)	○
●図書館事業に関わる成果(アウトカム)の把握	・ご意見箱・ご意見フォームの継続設置と、主な意見に対する回答 ・利用者アンケートの実施 ・講習会・講座受講者アンケートの実施		中央図書館で利用者アンケートを実施	○

(評価:◎→目標以上 ○→目標どおり △→目標以下 ×→成果なし)

★は、教育振興基本計画、その他計画、局運営方針に掲げた指標